



# きっずるーむだより

第60号  
令和7年11月10日発行  
社会福祉法人ゆうゆう  
きっずるーむ県庁別館



冬がもうすぐそこになりました。

落ち葉の感触が「フワフワ・フカフカ」から「カサカサ・サクサク」へと変わりました。

こどもたちには、その感触と音で秋の終わりを全体で感じて欲しいと思っています。

どんぐりや、綺麗な落ち葉など「自然の宝物」が沢山あります。

お気に入りの宝物を集めては色々な遊びに取り入れて、

秋の終わりを遊びの中で感じて欲しいと思います。

きっずるーむでは、お部屋からも散歩でも色々な秋を探して楽しんでいきます。



## いい歯の日



11月8日は、『いい歯(118)の日』です。

いつまでも美味しく、そして、楽しく食事をするためには、健康な歯を保つことが大切です。よく噛んで食べることは顎の発育を促し、虫歯の予防にも繋がります。

また、よく噛むことで『消化を助ける』だけでなく、『食べすぎ防止』『虫歯予防』『脳の活性化』などなど様々な効果が期待できます。口を開けたまま食事をすると、口周りの筋肉がなかなか鍛えられないそうです。

一度ご家庭でも咀嚼習慣を見直してみてください。しっかり噛んで丈夫で健康な歯を維持しましょう。きっずるーむでも、こども達に「かみかみ」と声を掛け、楽しくお弁当が食べられるように食事を見守っていきます。

### 子どもの様子

「読書の秋」。きっずるーむでも素敵な絵本や図鑑があります。

大好きな絵本や図鑑を保育者と読んだり、友達と一緒に見たりする姿があります。

大好きな虫に夢中のAちゃん(2歳6ヶ月)。

保育者でも知らない虫の名前を知っている虫博士で、よくきっずるーむの虫図鑑を見ています。

ある日窓から外を見ていた、Aちゃん、Bちゃん(3歳1ヶ月)。

Aちゃん「トンボだ！」Bちゃん「どこ？どこ？」と会話を楽しんでいました。

こども同士の会話から虫への興味が広がる素敵な空間でした。

2歳児は言葉が豊かな表現が出現する時期です。会話を通して様々な言葉を知っています。

きっずるーむでも、会話を大切にこれからもこどもと楽しく過ごしていきます。



## どんぐりの保存方法



秋のたくさんのどんぐりは、こども達の宝物です。しかし、実はどんぐりの中には虫がいることが多い、適切な下処理を行わないと虫が出てきてしまします。そこで以下の方法で下処理がおすすめです。

**【冷凍下処理】**袋などにいれ最低でも3日間冷凍します。冷凍後は新聞紙などの上で、解凍させ日光の当たらない風通しの良いところで3日～1週間ほど乾燥します。

**【塩水下処理】**どんぐりがしっかり浸かる量の塩水を作ります。(1ℓの水に塩大さじ2杯が目安)どんぐりをしっかり沈め一晩寝かせます。日光の当たらない風通しのいい所で3日～1週間ほど乾燥します。

どんぐりには様々な遊び方があります。

下処理し、是非こども達と秋を楽しんで下さい。